

資料4  
第8回科学技術情報整備審議会  
平成28年7月12日

国のデジタルアーカイブ連携における  
国立国会図書館の果たす役割

国立国会図書館  
電子情報部

# 1. 国の動き:「知的財産推進計画」

---

# 国のデジタルアーカイブを巡る動き

## 国会の決議

### 参議院文教科学委員会 会附帯決議 (H26.4)

「九、ナショナルアーカイブが、  
図書を始めとする我が国の貴重  
な文化関係資料を次世代に  
継承し、その活用を図る上で  
重要な役割を果たすものであ  
ることに鑑み、その構築に向  
けて、**国立国会図書館**を始め  
とする関係機関と連携・協力し  
つつ、著作権制度上の課題等  
について調査・研究を行うなど  
取組を推進すること。」

## 政府・与党の動き

### 自由民主党知的財産戦略調査会の提言

H26.5 コンテンツ小委員会 7の提言「アーカイブの利活用促進に向けた整備加速化」

H27.5 10の提言「アーカイブの利活用促進に向けた整備加速化」

### 知的財産推進計画2014

「第3.デジタル・ネットワーク社会に対応した環境整備」

「2. アーカイブの利活用促進に向けた整備の加速化」

### 知的財産推進計画2015

重要施策「6. アーカイブの利活用促進に向けた整備の加速化」において、具体的に、**国立国会図書館**が国の統合ポータルサイトの構築に関与することに言及

**電子書籍と出版  
文化の振興に関  
する議員連盟**  
(H25.6～)

**デジタル文化資  
産推進議員連盟**  
(H24.6～)

## 議連の動き

## 【知的財産推進計画2016】 第3-2. アーカイブの利活用の促進

(出典)「[知的財産推進計画2016 概要](#)」に基づき作成

### 現状と課題

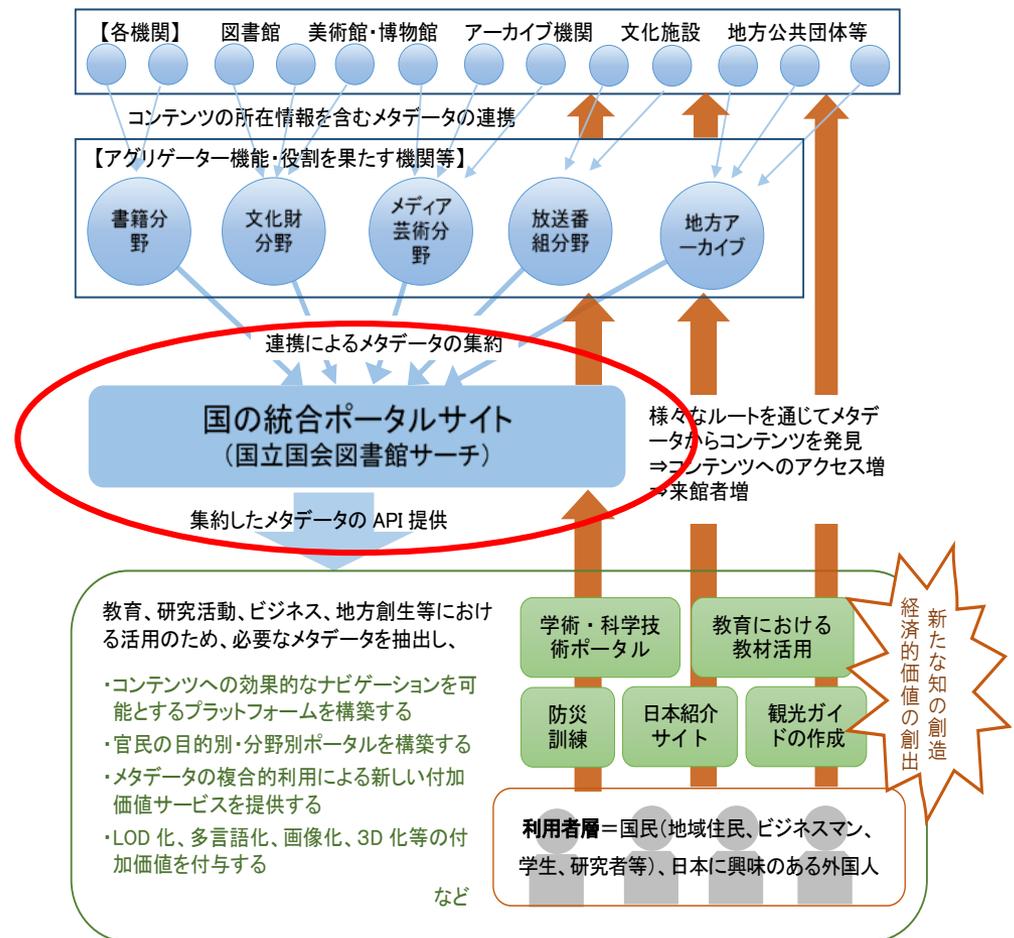
- 「知財推進計画2015」に基づき、デジタルアーカイブの構築とその利活用の促進を図るため、関係府省・実務者による「実務者協議会」を2015年度に設置し、実務的課題と対応策の検討体制を強化。
- 分野・地方に応じたアーカイブ連携モデルと推進策の検討、コンテンツを解説・紹介するためのデジタルデータ(メタデータ、サムネイル/プレビュー)の利用条件等の運用面・制度面での整備等が必要。

## 取り組むべき施策

### 1. アーカイブ間の連携の促進

- 分野・地方両面からの連携推進策、地方における各機関等の協力推進策等を、実務者協議会等を通じ検討
- 国の分野横断統合ポータル構築に向けて、国の統合ポータルサイトとして国立国会図書館サーチを位置付け、
  - 国立国会図書館サーチと文化遺産オンラインの連携
  - 特定の分野又は地方のアグリゲーターの整備のための取組

### 【メタデータの流れと望ましい利活用イメージ】



## 取り組むべき施策

### 2. 分野ごとの取組の促進

- 各分野の束ね役(アグリゲーター)によるメタデータの集約化
- 書籍等: 公共・大学図書館等の連携支援、国立国会図書館資料のデジタル化の継続とデータの利活用促進
- 文化財: 日本遺産を構成する文化資源等のデータ集約や多言語化、全国の博物館・美術館等の連携促進
- メディア芸術: メディア芸術データベースの利活用促進
- 放送コンテンツ: 教育目的や遠隔地でのコンテンツ利用促進

### 3. アーカイブ利活用に向けた基盤整備

- メタデータのオープン化、サムネイル／プレビューの利用条件等の課題と対応策を、実務者協議会等を通じ検討
- アーカイブ機関による解説・紹介のためのデジタルデータの利用を可能とする著作権制度の検討と必要な対応

## 国のデジタルアーカイブ構築に向けて

### 日本型連携モデルの検討

⇒「束ね役(アグリゲーター)」の設定が困難な分野もあるため、「束ね役」に頼らない連携の方策の検討が必要である

⇒各分野・各地方の状況を踏まえた段階的取組が必要である

⇒無理なくまとまる範囲でメタデータを集約・共有していく、ゆるやかな連携モデルを進めることが現実的である

#### <我が国における個別アーカイブ機関の連携モデル>

- ① 国立国会図書館サーチと直接連携
- ② 文化遺産オンラインのように分野をまとめる「束ね役」と連携
- ③ 地方をまとめる「束ね役」と連携
- ④ 法人や自治体単位等、連携しやすい可能な単位でまずは連携
- ⑤ 連携を直接の目的にはしないが、メタデータを自由利用可能な条件でAPI提供

⇒最終的に国立国会図書館サーチに集約へ

# デジタルアーカイブの連携に関する実務者協議会 中間報告(平成28年3月)

(出典)「[デジタルアーカイブの連携に関する実務者協議会 中間報告](#)」に基づき作成

## デジタルアーカイブの利活用促進に向けて

### メタデータ等のオープン化の推進

⇒世界的な動向を踏まえ、公的機関のメタデータは、自由に二次利用可能な条件で公開することとし、CC0※<sup>1</sup>で提供することを原則とするのがよい

⇒公的機関のもの又は公的助成により作成されたサムネイル/プレビューについては、原則としてCC0又はCC-BY ※<sup>2</sup>で利用可能なよう整備されることが望まれる

⇒公的機関が保有するデジタルコンテンツで著作権保護期間が満了したものは、オープン化し、パブリック・ドメイン・マーク等を表示することが望まれる。

メタデータ
サムネイル/プレビュー
元データ (コンテンツ)

図: デジタルアーカイブ連携における流通単位

※1: 欧米で広く採用されている利用条件表示の一つ。何の制限・条件もなくメタデータを二次利用できることを意味する。

※2: クリエイティブ・コモンズが提供している著作権の扱いを示す表示ツールの一つで、CC-BYは著作権のクレジットを表示すれば自由な二次利用が可能ということの意味する。

## 2. 国立国会図書館サーチの現状

---

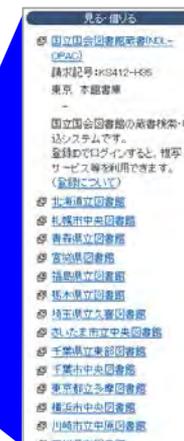
# 国立国会図書館サーチの現状



愛称「NDLサーチ」(H24.1~)

<http://iss.ndl.go.jp/>

- 国立国会図書館及び他機関が保有する紙・デジタル媒体等の情報資源の書誌・メタデータを横断的に検索
- 図書館、博物館、美術館、公文書館、民間企業等分野も問わない
- 約100データベース、約1億件以上のメタデータを検索
- 同じ書誌をグループ化し、各種の入手手段に案内
- 「外部提供インタフェース(API)」提供
- 多言語対応(日/中/韓/英):各言語版+翻訳機能
- スマートフォン対応
- 「国立国会図書館サーチ連携拡張に係る実施計画」(平成27年3月策定)



# 国立国会図書館サーチの現状



「約100のデータベース」の内訳(代表的なもの)

## 国立国会図書館

- NDL-OPAC
- 国立国会図書館デジタルコレクション
- インターネット資料収集保存事業 (WARP)
- 総合目録ネットワーク(ゆにかねっと)
- レファレンス協同データベース
- リサーチ・ナビ ...

## 博物館・美術館・公文書館

- e国宝
- 国立美術館所蔵作品総合目録検索システム
- 国立公文書館デジタルアーカイブ ...

## 公共図書館・大学図書館デジタルアーカイブ

- 約40のデジタルアーカイブが検索可能

## 学術情報機関

- CiNii Articles
- CiNii Books
- JAIRO
- J-STAGE
- 人間文化研究機構統合検索システム ...

## その他

- Japan Knowledge
- JPO出版情報登録センター
- 青空文庫

## 海外図書館

- Dibrary (韓国国立中央図書館)

### 3. 「国の分野横断統合ポータル構築」に向けて

---

# 実現に必要な国立国会図書館サーチの機能の整理

## これまでの国立国会図書館サーチの機能

- 当館作成の各種データベースの横断検索の実現
- 図書館界のポータルを提供
- 学術情報を中心としたメタデータの集約、(一部の)API提供



## 「国の分野横断統合ポータル」になるために足りない機能

- 国全体の多種多様なコンテンツのメタデータを集約・提供し、コンテンツの利活用を促すプラットフォームの機能
- 集約したメタデータを利活用しやすい形で提供する機能
- コンテンツへの効果的なナビゲーションを可能とする検索機能

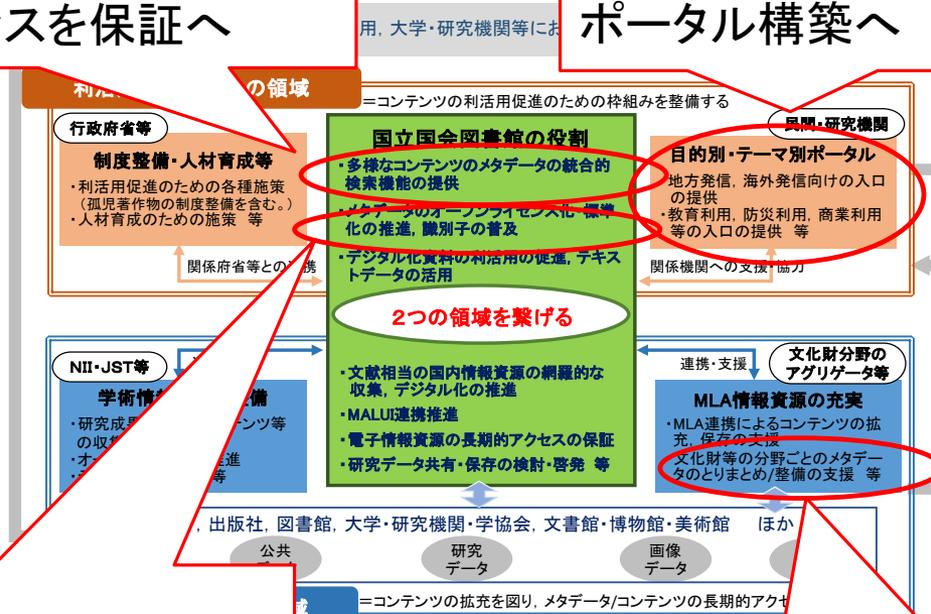
⇒ 国立国会図書館サーチからジャパンサーチ(仮称)へ

# ジャパンサーチ(仮称)の実現に向けた取組

国立国会図書館サーチを発展させた「ジャパンサーチ(仮称)」によってこれらの役割を果たす

MALUI連携による、メタデータ連携の促進により、多種多様な分野のコンテンツへのアクセスを保証へ

集約したメタデータを活用しやすい形で提供し、目的別・テーマ別ポータル構築へ



集約したメタデータ等の自由な二次利用を可能にするため、オープンライセンス化・標準化の推進へ

文化財分野等のメタデータも集約へ